

病院向け自律搬送ロボット HOSPI

“人にしかできない医療”を守るために

搬送業務はロボットに任せ、スタッフが本来の役割に集中できる環境へ。

こんなお困りごとありませんか？

搬送業務による 職員への負担

薬剤や検体を運ぶために、職員が持ち場を離れざるをえない。特に夜間は限られた人員で対応するため、緊急時の初動に影響することもあります。

搬送設備の 維持・更新負担

既存の搬送設備は、老朽化に伴う更新に大きな費用がかかることも。また、病棟改修や部門移転に合わせた搬送ルートの変更も容易ではないことも。

院内搬送の 安全性・確実性

人による搬送には、紛失・誤配送・落下などのリスクが伴います。

HOSPIが、院内搬送の課題を解決。

医薬品・検体・診療材料の院内搬送を自動化し、医療現場の業務効率化と安全性向上に貢献。

HOSPI

標準型

基本機能

✓ IDカード認証

✓ 自動充電

✓ 高性能センサで
安全運行

✓ EV乗降

✓ タッチパネル
簡単操作



HOSPI Trail

カート連結型



基本機能
+ カート切り離し

確実な院内搬送で、 医療スタッフの時間を創出

搬送業務をHOSPIに任せることで、医療スタッフが本来の業務に専念できます。ある病院では、HOSPIの活躍で1日平均約7時間20分（臨時搬送が14回、定時搬送が8回、人での搬送時間が往復20分の場合）の時間を創出することができました。

安心安全の機能で 日々の業務をしっかりサポート

医療現場での使用を前提に設計された搬送ロボットだからこそ、安心・安全の機能が充実。高精度なセンサや認証セキュリティ、安定した運搬性能など、院内環境に特化した設計で、日々の業務をしっかりサポートします。

運ぶだけじゃない！ スタッフや小さな患者さまにも人気

薬剤や検体の搬送だけでなく、かわいらしい見た目で、スタッフや小さな患者さまに癒しを届ける存在に。院内で“人気者”として親しまれ、業務の効率化と心のやすらぎを両立します。

※仕様・デザイン等は変更する場合がございます。詳細な機能についてはお問い合わせください。

国内外 **15** 病院 導入開始から **15** 年以上無事故で運用

2026年10月6日現在

京都大学医学部附属病院、湘南鎌倉総合病院、東北大学病院、宮崎市郡医師会病院、松下記念病院、埼玉医科大学国際医療センター、獨協医科大学病院、神戸市立医療センター中央病院、加古川中央市民病院、医誠会国際総合病院、わかさ竜間リハビリテーション病院、公立邑智病院、西宮総合医療センター、Changi General Hospital、Singapore General Hospital（敬称略・順不同）

パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社

HOSPIホームページ

<https://www.panasonic.com/jp/company/ppe/hospi.html>



HOSPI特設サイト



HOSPIのお問合せ